

11:42 受

11

様式0-1-(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19006報)

平成30年12月10日 11時40分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 本日11時12分頃、点検停止中の既設多核種除去設備(A)から水が漏えい(滴下)していることを協力企業作業員が発見しました。  状況は以下のとおりです。 ・発見時刻 11時12分頃 ・発生場所(設備名称) 既設多核種除去設備(A) ・漏えい箇所 弁(F218A) グランド部 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 確認中 ・拡大防止処置 滴下した水は堰内に溜まっている(作業用養生エリア内) ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 なし  【公表区分C】  ※添付の有・無
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

13:26 受

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要(原子炉施設)

(第19007報)

平成30年12月10日13時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19005報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 10時10分</li> <li>・排水終了 : 12時45分</li> <li>・排水量 : 384 m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

14:47 受

1/1

様式9-1(1/2)

## 応急措置の概要(原子炉施設)

(第19008報)

平成30年12月10日14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)          第19006報でお知らせした、点検停止中の既設多核種除去設備(A)からの水の漏えい(滴下)の件について、その後の状況をお知らせします。          状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発生場所(設備名称) 既設多核種除去設備(A)、(B)、(C)</li> <li>漏えい箇所 状況を確認したところ、弁(F218A)グランド部に加え、既設多核種除去設備(B)弁(F218B)、既設多核種除去設備(C)弁(F218C)にも同様に弁グランド部よりの漏えい(滴下)が確認されました。</li> <li>漏えい範囲 【既設多核種除去設備(A)】 40cm×40cm×深さ0.1cm 【既設多核種除去設備(B)、(C)】 50cm×50cm×深さ0.1cm(各1ヶ所)</li> <li>漏えい拡大防止措置 【既設多核種除去設備(A)】 滴下した水は堰内に溜まっている。(作業用養生エリア内) 【既設多核種除去設備(B)、(C)】 滴下した水は堰内に溜まっている。</li> <li>漏えい継続の有無 弁グランド部増し締めにより停止</li> </ul> <p>なお、漏えいした水については、回収を実施致しました。</p> <p>【公表区分：C続】          ※添付の有・<input checked="" type="radio"/>無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

16:01受

様式9-1(1/2)

## 応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19009報)

平成30年12月10日15時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [12月10日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 12月9日]</li> <li>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 12月9日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 12月9日]</li> </ul> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月11日に排水を実施します。  排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 12月6日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年12月10日 11:00 現在

【重要事項】  
 各パラメータについては、時差やその後の誤差等の影響を受けて、誤差の発生原因  
 条件を特定しているものもあり、正しく測定されていない回数のある計測値も存  
 在している。プラントの状態を把握するために、このような計測値の不確かさを考  
 慮したうえで、複数の計測値から得られる情報を活用して変化の傾向にも注目し  
 て総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系：1.5m <sup>3</sup> /h CS系：1.4m <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.4m <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.4m <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 腐蝕速度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 19.0°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 18.9°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 18.9°C (12/10 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 25.5°C RPV 温度 (TE-2-3-69R) : 23.3°C (12/10 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 25.2°C RPV 座部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 23.5°C (12/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 19.4°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 18.9°C (12/10 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 25.9°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 25.6°C (12/10 11:00 現在)	格納容器空調機裏り空気温度 (TE-16-114A) : 25.1°C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 23.0°C (12/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.53kPa g (12/10 11:00 現在)	1.04kPa g (12/10 11:00 現在)	0.33kPa g (12/10 11:00 現在)	
蒸気吸入流量 ※3	RPV (RVH) : 14.07Nm <sup>3</sup> /h (JP-A) : 14.54Nm <sup>3</sup> /h (JP-B) : -Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	RPV : 10.59Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	RPV : 17.50Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.6m <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	13.41Nm <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	19.69Nm <sup>3</sup> /h (12/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系 : 0.02vol% B系 : 0.00vol% (12/10 11:00 現在)	A系 : 0.08vol% B系 : 0.07vol% (12/10 11:00 現在)	A系 : 0.07vol% B系 : 0.07vol% (12/10 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系 : 指示値 1.42E-03 検出限界値 3.30E-04 Ba/cm B系 : 指示値 1.11E-03 検出限界値 3.40E-04 Ba/cm (12/10 11:00 現在)	A系 : 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm B系 : 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm (12/10 11:00 現在)	A系 : 指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm B系 : 指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm (12/10 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	26.5°C (12/10 11:00 現在)	31.3°C (12/6 11:00 現在)	28.4°C (12/2 11:00 現在)	18.0°C (12/10 11:00 現在)
FPC 及び Y 物 水位	2.34m (12/10 11:00 現在)	5.05m (12/10 11:00 現在)	2.99m (12/2 11:00 現在)	35.08X100mm (12/10 11:00 現在)

【計測値に関する情報】  
 ※1 : 格納容器内の水素濃度は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナズ表示される場合があります)  
 ※2 : 原子炉格納容器内の放射能濃度はXe135と記載する。  
 ※3 : 原子炉格納容器内の蒸気吸入流量はNDと記載する。原子炉格納容器内の蒸気吸入流量はNDと記載する。  
 ※4 : 蒸気吸入流量、圧力で流量補正した値を記載する。  
 ※5 : 3号機使用済燃料プール水位は2号機使用済燃料プール水位に準じて記載する。  
 ※6 : 2号機使用済燃料プール水位は2号機使用済燃料プール水位に準じて記載する。

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

2018年12月10日

I-131(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/9. Rows 1-9 show I-131 concentrations, mostly as ND (Not Detected).

CS-134(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/9. Rows 1-9 show CS-134 concentrations, mostly as ND.

CS-137(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/9. Rows 1-9 show CS-137 concentrations, including numerical values like 6.2, 9.8, 6.5, 7.1, 6.4, 5.9.

- <測定箇所>
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤罐内体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトハン力建屋南西
⑦焼却工作建屋西側
⑧罐内体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトハン力建屋南東

※I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑥は採取不可のため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨は検出限界未満を示し、( )内に検出限界値を示す。

4/6

2018年12月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

# 福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路			物揚場排水路		
	12月7日	12月8日	12月9日	12月7日	12月8日	12月9日
採取日	12月7日	12月8日	12月9日	12月7日	12月8日	12月9日
採取時刻	8:18	7:55	7:55	8:21	8:00	8:00
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	0	0
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.90)	ND(0.54)	0.62	ND(0.59)	ND(0.70)	ND(0.59)
Cs-137(約30年)	1.7	6.7	5.7	2.4	1.6	2.0
全β	3.5	7.0	6.2	ND(3.5)	ND(4.2)	3.9
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路			BC排水路		
	12月7日	12月8日	12月9日	12月7日	12月8日	12月9日
採取日	12月7日	12月8日	12月9日	12月7日	12月8日	12月9日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	0	0	0	0	0	0
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	1.1	0.65	ND(0.70)	ND(0.61)	ND(0.68)	ND(0.50)
Cs-137(約30年)	13	6.9	6.4	ND(0.92)	ND(0.82)	ND(0.71)
全β	20	11	7.8	ND(3.9)	ND(3.5)	ND(3.1)
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

\* 本枠内が今回公表データ。他は12月9日までに知らせ済み。

\* 測定対象外の項目は「-」と記す。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

5/6

2018年12月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 5,6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東渡線北側)	福島第一 1号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 2号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日		12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日		
採取時刻		8:07	7:50	7:50	7:20	7:35	7:30	7:25	6:55	6:38	6:36		
Cs-134 (約2年)		ND(0.41)	ND(0.55)	ND(0.55)	ND(0.53)	ND(0.58)	ND(0.52)	ND(0.48)	ND(0.71)	ND(0.46)	ND(0.29)	60	10
Cs-137 (約30年)		ND(0.54)	ND(0.61)	ND(0.61)	5.4	5.9	4.6	4.1	ND(0.75)	ND(0.52)	0.83	90	10
全β		ND(14)	ND(14)	ND(14)	ND(14)	16	ND(14)	20	11	ND(15)	ND(17)		
H-3 (約12年)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日		12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日	12月9日		
採取時刻		6:34	6:32	6:41	7:16							
Cs-134 (約2年)		ND(0.27)	ND(0.38)	ND(0.26)	ND(0.47)						60	10
Cs-137 (約30年)		0.64	0.50	0.80	0.72						90	10
全β		ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(15)							
H-3 (約12年)		—	—	—	—						60,000	10,000
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—						30	10

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])



6/6

2018年12月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

一時貯水タンク H (サンプルタンク H)		運用目標	告示濃度 ※1 限度	WHO 飲料水 水質ガイドライン
採取日	東京電力 2018年12月6日	第三者機関 2018年12月6日		
採取時刻	8:37	8:37		
貯水量 [m <sup>3</sup> ]	510	510		
セシウム134	ND(0.77)	ND(0.53)	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.66)	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし		
全ベータ	ND(2.2)	ND(0.34)		
トリチウム	670	710	1,500	10,000

\* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/L に下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

17:11 受

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要(原子炉施設)

(第19010報)

平成30年12月10日16時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)          第19006報でお知らせした、点検停止中の既設多核種除去設備(A)からの水の漏えい(滴下)の件について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>16時40分、既設多核種除去設備(A)、(B)、(C)弁グランド部からの漏えい水については、下記より既設多核種除去設備の洗浄に用いる「ろ過水」と判断しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、既設多核種除去設備(A)、(B)、(C)は全系統とも停止しており、当該箇所に系統水が流れ込まないように隔離されていること。</li> <li>・当該箇所にはろ過水のみ圧力がかかる系統構成であること。</li> <li>・漏えい水をスマイヤ測定したところ、既設多核種除去設備(A)200cpm、既設多核種除去設備(B)190cpm、既設多核種除去設備(C)180cpmであり、BG値の50~100cpmと比較し、若干高めの数値となったが、改めて当該弁表面をスマイヤ測定したところ、その表面上に汚染が確認されたことから、漏えい水の測定値には、この当該弁表面の放射性物質を取り込んだと考えられること。</li> <li>・既設多核種除去設備(A)、(B)、(C)漏えい水の塩分濃度が0%、既設多核種除去設備(A)漏えい水のpHが7.1、既設多核種除去設備(B)、(C)漏えい水のpHが7.9であること。</li> </ul> <p>ろ過水と判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。          【公表区分: その他】</p> <p>※添付の有・<input checked="" type="radio"/>無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。